

中部サイエンスネットワーク 第2回防災・減災ワークショップを実施しました（2020/8/22）

テーマ：逃げる行動、科学と生活
 場所：静岡県地震防災センター

2018年1月に当研究所と連携協定を締結した（公財）中部科学技術センターと静岡県地震防災センター、静岡大学防災総合センター、そして当研究所の四者が主催した第2回防災・減災ワークショップが、8月22日に静岡県地震防災センターで開催されました。

第一部では、当研究所保田真理プロジェクト講師（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）から、東北大学減災教育「結」プロジェクトの中から津波のメカニズム、静岡大学防災総合センターの原田准教授から静岡県の災害に関する講話を聞き、聞いて学ぼう。第二部では、体験してあそぼうとして、静岡県地震防災センターの展示・体験ブースを回りながら防災・減災スタンプラリーを体験しました。日本技術士会静岡県支部の会員がブース内で説明員としてサポートしてくれました。第三部では、講座全体から学習したことを振り返り、自分でできると考えたことや周囲と助け合いたいこと、国などにやってもらいたいことをグループで話し合い、グループごとにプレゼンテーションを行いました。30名の児童や生徒を含む63名が参加し、防災・減災を自分たちの視点で見つめ、家族の安全対策をじっくり考えるイベントとなりました。

新型コロナ対策として、参加者を県内に限定し、登録時に連絡先の把握をし、当日は連絡先の確認と検温を実施し、参加者全員がマスク着用をしました。入館時と移動時には必ずアルコール消毒をすることを徹底し、座席は1席おきにする、移動は密にならないようグループ分けして行動するなどの工夫をしました。



講義風景



地震体験風景



プレゼンテーション風景



スタンプラリー風景